

販促カレンダー＜2月＞ 如月

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
金	木	水	火	水	火	土	金	木	水	火	水	火	土	金	木	水	火	土	金	土	金	木	水	火	水	土	日
			京都北野天満宮梅花祭	群馬上州白久保のお茶請	●天皇誕生日 京都五大力尊仁王会		千葉茂名の里芋祭			雨水	三重伊勢神宮祈年祭 青森八戸えんぶり(20日) 京都居龍祭(15日)	日蓮大聖人御誕生会	涅槃会福井水海の田楽能舞 福島信玄三山参り 横手のかまぐら(16日)	バレンタインデー、奈良長谷寺だたおし			●建国記念日 東京徳丸北野神社田遊び 茨城水戸の梅まつり(3月本)	石川竹割り祭り、愛知豊橋鬼祭り(11日)	針供養		初午、宮城米川水かぶり、和歌山新倉神社御燈祭			立春	節分	二月礼者、三重尾鷲ヤーヤ祭り(5日)	

いい老後になるか否か… 日光三猿に学ぶ

2024 年 12 月 26 日 婦人公論 JP

生きていく上で最大の難関ともいえるのが人間関係。そのすべてを握るのが、他人からどう思われたいか、という人からの評価です。特に生きていく上では、近所づきあいや他人からの評価を査定するまで、他人から評価されることばか

「自律神経は50歳を過ぎると、野生動物であれば自然界で生きられないレベルまで下がる」。そう語るのは、自律神経の名医・順天堂大学医学部の小林弘幸教授です。避けて通れない老いの真ただ中で、自律神経を整えて楽しく過ごしていくためには、どのような習慣を身に付けたら良いのでしょうか？

私は日ごろから、本当の意味での人生の成功者というのは、プライドを捨てた人なのではないかと考えています。他人にどう思われようと関係ない、自分の道を信じて自分のやりたいことだけをやる人間こそ、人生の勝者なのではないかと思っています。これまでは再三、他人の目を気にして、評価されながら生きてきたかもしれないませんが、そこから解放されるのが定年です。他人の基準を自分の基準に書き換えるチャンスです。これをやったら評価が上がるのではない

か、こうすれば売上に結び付くのではないか、そういった基準から、「自分は何をやりたいか」「ここに人生の軸を置き換えるときです。」

2025 年
2 月号

いい人生になるかどうかは、日光のサルに徹することができかどうかにかかっています。その教えは究極の人生の過ごし方だと思っています。現役生活の間はなかなかそうもいかなかった方も、定年後はできない理由はないでしょう。

そのためには、日光東照宮のサルになりきれば間違いなくうまくいきます。「見ざる、言わざる、聞かざる」という姿勢が必ず役に立ちます。余計なものを見るから隣の芝生が青く見えて迷いが出ます。嫉妬や迷いの感情は自律神経を乱します。余計なことを言うからチャンスを逃したり後悔したり、余計なことを聞くから心配ごとが増えたり不安がつつたり……。結局「グーイング・マイ・ウェイ」が一番。

り。組織に所属している限りは、むしろすべてが人からの評価で成り立っているとも言えます。上司から「あいつはダメだな」と思われたくない。同僚から「あの人はすごいなあ」と言われたい。中には目標をそこに設定して、その為に頑張ってきた方もいらっしゃるかもしれません。ところが自律神経の視点からいうと、人からの評価を気にすることは、相当自律神経を乱します。

究極の孤独『死』と向き合う… 恐れと共存する考え方 1/2

2025年1月2日 現代ビジネス

死と向き合って、見えてきたもの

訪問看護やがん患者などの病床訪問に取り組む浄土宗願生寺（大阪市）の大河内大博住職には、忘れがたい記憶がある。「その女性（70代）でがんを患ったのですが、『治療はしない』と決めていらつしました。終末期に入り、私がチャプレン（病院などに勤務する聖職者）として勤めていた病院の緩和ケア病棟に入院されたのです。」

私が病室にお邪魔したとき、女性の机の上にデジタルカメラがひとつ置いてありました。『あな、見てご覧なさい』と言って見せてくれたのが、病室の窓から眺めた風景を撮った写真でした。『女性（写真）を毎日撮っていた。大河内氏には、どれも何の変哲もない、同じ街の風景を写したものにしか見えない。だが彼女は笑って言った。『あなたには、どれも同じ景色に見えるでしょ。』

多くの人は、自分の死そのものに悩んでいる

相続や墓といった俗世の悩みは、誰かに尋ねたり調べたりすることができないが「死ぬのがこわい」という悩みは、誰にでも打ち明けられるものではなく、定まった答えもない。ネットを通じて日々多くの悩み相談を受けている佛心宗大叢山福厳寺（小牧市）大愚元勝和尚が語る。「私がふだん、住職として寺にいるときに対面で受けるのは『お葬式や法要をどうしたらいいか』『老親が亡くなったら何をすればいいか』といった相談が多いです。しかし、ネットでは一転して『死ぬのがこわい』『死ぬのが不安だ』という相談が毎日たくさん届きます。ほんとうは多くの人が、自分の『死そのもの』について悩んでいるらつしやるのです。（大愚氏）

マイナスな記憶力と想像力

人が死を恐れるのは、脳を大きく発達させたがゆえの宿命だ。たとえば犬などは「時間」の觀念が未熟で、ボールの動きのよう近未来のことは予測できて、数年後、十数年後に自分が

死を迎えることは知らないといわれる。この星の中で、自らの末路を知っているのは、我々だけなのだ。「人間には、特有の能力が2つあります。ひとつは記憶力、そしてもうひとつが想像力です。ですが残念ながら、多くの人は記憶力を『後悔すること』に、想像力を『未来を憂う』ことに使っています。『別の人と結婚していれば、もっと幸せだったのに』とか、『老後資金が2000万円貯まっていらない』などと悩むわけです。これでは、せっかく得た力を間違った方向に使っていると言わざるをえません。（大愚氏）

死ぬ恐怖を克服するには？

お釈迦さまは、死を恐れることを『愚かだ』とおっしゃいました。なぜなら、死の『成功率』は100%で、ひとりの例外もない。われわれの先祖を含め、これまで生まれてきたすべての人が経験してきたことなのですから、じただたしたところで無駄なのです。必要以上に恐れても、何の意味もない。まずは、その事実としっかり向き合わねばなりません（大愚氏）

「独身税」って何？

少子化対策として、令和8年4月から「子ども・子育て支援金」の徴収が開始されます。税金として納めるのではなく、現在支払っている社会保険料に上乗せされる形で、まずは平均250円から支払うことになる予定です。金額は令和10年度までの3年間で増額していくことがすでに決定しています。

子育て世帯が恩恵を受ける制度であることから「独身税」とも呼ばれていますが、社会保険料が増額されるのは独身者だけではありません。公的医療保険に加入している全ての人が対象になります。

支払ったお金は、児童手当の拡充や妊娠・出産時の給付金など、子育て世帯が利用できるさまざまな施策のために利用されるため、具体的な内容を確認しておくことをおすすめします。



2024年12月27日
ファイナンシャルフィールド

率先励行 葬儀会館の取組み

家族葬ホールが グッドデザイン賞

ラポール株式会社(大阪市)が展開する家族葬ホール「家族葬のグートハウス 神前」が、「グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)」を受賞しました。

家族葬のグートハウス神前は、従来のロードサイドショップを思わせる会館ではなく、ご家族が故人と向き合える葬儀空間を、建築のエレメントや採光窓の配置に注力し構成しました。外観は周辺環境に合った形状、ボリュウム、色彩計画とし、街の中に建つ葬儀会館としてのあり方を模索しました。



2024年12月24日
PR TIMES(ラポール株式会社)

マルシェで多様化する 葬送文化を

徳島葬送・COMを運営する株式会社T&F(徳島県)は、2024年12月22日に、地域密着型イベント「第9回友引マルシェ」を開催。人口減少や家族形態の変化に伴い、地域の葬送文化のあり方が問われる中、新たな対話の場として注目を集めています。キッチンカーの香り漂う賑やかな空間で、新しい価値観との出会いを提供する本マルシェは、毎回多くの家族連れでにぎわう人気イベントとして定着しています。

「友引マルシェ」は、偶数月開催の地域の町おこしイベントとして定着してきました。入棺体験や葬儀体験ができる場所でありながら、地域の方々の憩いの場として親しまれ、毎回新しい出会いが生まれる場所となっています。古くから伝わる地域の葬送文化を大切にしながら、現代に生きる私たちの新しい選択肢を提案する場として、世代を超えた対話を生み出しています。



2024年12月9日
PR TIMES(徳島葬送.COM)



徳島ヴォルティス公式コラボ棺は、オフィシャルスポンサーとして協力関係にあった徳島ヴォルティスに企画を提案し、実現に至りました。11月3日にポカリスエットスタジアムにて行われた徳島ヴォルティスホーム最終戦での初披露では、自身や家族のために7件の申し込みがあり、スポーツファンの新しい選択肢として注目を集めています。

合同企業説明会で 入棺体験

株式会社永田屋は「マイナビ横浜合同企業説明会」にて、入棺体験を実施しました。このイベントは、葬祭業の意義や命の尊さを学生の皆さんに直接感じていただくための貴重な機会となりました。

体験を終えた学生たちからは、「生きているうちに入れてよかったかも」「意外と居心地が良い」「生まれ変わったみたい」「神聖な感じがした」。特に「貴重な体験ができた」「思ったより温かく感じた」など、単なる体験にとどまらず、人生を見つめ直すきっかけとなる感想が多く寄せられました。会場では多くの学生が足を止め、さらには他の出展企業の方々も体験を見学するなど、幅広い関心を引きました。「入棺」という普段触れることのない体験を通じて、命の尊さを実感し、自己成長や価値観の拡張につながる機会を提供できました。

2024年12月7日
PR TIMES(株式会社永田屋)

財産は
ビッグでないが
うちのボス
(60代 男性 セビア)



パスワード
何から何まで
開かずの間
(30代 女性 リンファ)

引き出しの
奥に隠れた
父の愛
(50代 女性 景日子)



親子で相続を考える会
(遺産相続コンシェルジュ
掲載)第6回相続川柳の
受賞作品です。

相続川柳

語り愛

カレンダー

●二月のご命日●

「故人様と同じ日に、
こんな方がお亡くなりになっています…」
そんな一言をきっかけに、
傷心の喪主様へ、さりげないたわりのお声がけを。

一日 (土) 昭和十二年 (一九三七年)

河東 碧梧桐(俳人・随筆家)

高浜虚子と共に子規門下の双壁と目された俳人。子規没後は、従来の五七五調の形にとられない新傾向俳句を提唱した。

二日 (日) 平成二十一年 (二〇〇九年)

山内 一弘(プロ野球選手・監督)

「シュート打ちの名人」と言われ、「大毎ミサイル打線」の中軸を担った強打者。

三日 (月) 明治三十四年 (一九〇一年)

福沢 諭吉(教育家・思想家)

明治の代表的な啓蒙思想家であり、慶應義塾大学の創設者。著書『学問のすすめ』は明治初期における最大のベストセラーとなった。

四日 (火) 明治二十七年 (一八九四年)

アドルフ・サックス(楽器製作者)

サクソフォーンを発明した、ベルギーの楽器製作者。生涯を通じて楽器製作とパリ音楽院でのサクソフォーン教育に携わった。

五日 (水) 友引 平成十年 (一九九八年)

高橋 竹山(津軽三味線奏者)

津軽三味線を全国に広めた第一人者。演歌歌手北島三郎の『風雪ながれ旅』のモデル。

六日 (木) 平成六年 (一九九四年)

ジャック・カービー(漫画家)

アメリカン・コミック界の「キング」と称される。代表作は『ファンタスティック・フォー』、『キャプテン・アメリカ』、『Xメン』等。

七日 (金) 明治十八年 (一八八五年)

岩崎 弥太郎(実業家)

三菱財閥の創業者で初代総帥。明治の動乱期に政商として巨利を得た最も有名な人物。

八日 (土) 昭和三十二年 (一九五七年)

ジョン・フォン・ノイマン(数学者)

現在のコンピュータの基礎を築いた天才数学者。二十世紀科学史における最重要人物の一人。

九日 (日) 平成元年 (一九八九年)

手塚 治虫(漫画家・アニメーター)

ストーリー漫画の手法を確立し、日本の漫画表現の基礎を作った「マンガの神様」。代表作は『ブラック・ジャック』等、多数。

十日 (月) 大正十二年 (一九二三年)

ヴィルヘルム・レントゲン(物理学者)

「X線」を発見したドイツの物理学者。この功績により、第一回ノーベル物理学賞を受賞した。

十一日 (火) 友引 平成二十年 (二〇〇八年)

中村 寅吉(プロゴルファー)

日本で初開催されたカナダカップで団体・個人ともに優勝し、日本の第一次ゴルフブームの礎を築いた日本プロゴルフ界の第一人者。

十二日 (水) 平成八年 (一九九六年)

司馬 遼太郎(小説家)

独自の視点から、『竜馬がゆく』や『燃えよ剣』等多くの作品を発表し、その後の歴史小説に大きな影響を与えた。

十三日 (木) 平成二十年 (二〇〇八年)

市川 崑(映画監督)

娯楽映画から実験的映画、テレビ時代劇まで幅広く手がけ、常に第一線で映画制作に取り組んだ巨匠。代表作に『犬神家の一族』等。

十四日 (金) 平成二十四年 (二〇二二年)

マイク・ベルナルド(キックボクサー)

キックボクシングイベント「K-1」で活躍。「南アフリカの豪腕」の異名をとり、アンディ・フグ等と共にK-1四天王として君臨した。

十五日 (土) 平成十九年 (二〇〇七年)

ロバート・アドラー(発明家)

数々の発明で特許を取得。特にテレビ用の無リモコンの開発で有名。

十六日(日) 平成二十九年(二〇一七年)

ディック・ブルーナ(絵本作家)

「ミッフィー」の作者。1955年にシリーズの第1作『ちいさなうさこちゃん』を発表。日本では1964年に出版された。

十七日(月) 友引 平成二十二年(二〇一〇年)

藤田 まこと(俳優)

コメディアン、俳優として活躍。『必殺』シリーズや『はぐれ刑事純情派』はアタリ役となり、ロングヒットを記録した。

十八日(火) 永祿七年(一五六四年)

ミケランジェロ・ブオナローティ(芸術家)

西洋美術史上における最高の美術家の一人とされ、様々な分野で優れた芸術作品を残した「万能人」。代表作は『ダヴィデ像』等。

十九日(水) 宝永六年(一七〇九年)

徳川 綱吉(江戸幕府五代将軍)

「生類憐れみの令」等の愚政で有名であるが、学問好きで多くの儒学者を輩出した。

二十日(木) 昭和八年(一九三三年)

小林 多喜二(小説家)

日本プロレタリア文学の代表的な作家。近年、代表作『蟹工船』が再評価され、若年層を中心にブームとなった。

二十一日(金) 昭和十三年(一九三八年)

ジョージ・ヘール(天文学者)

太陽の観測のためのスペクトロヘリオグラフを発明し、太陽の磁場を発見した太陽研究における一大権威。

二十二日(土) 昭和六十二年(一九八七年)

アンディ・ウオーホル(芸術家)

ポップアートを代表する人物であり、ロックバンドのプロデュースや映画制作なども手掛けたマルチ・アーティスト。

二十三日(日) 友引 安政二年(一八五五年)

ラモン・カザス(画家)

風刺画、上流階級の人々の肖像画で知られる。また、バルセロナの路上で抗議する人々を抑圧する様子を描いた作品で有名になった。

二十四日(月) 昭和九年(一九三四年)

直木 三十五(小説家)

大正から昭和にかけて活躍した大衆作家。代表作は『南国太平記』等。没後、盟友・菊池寛により「直木賞」が創設される。

二十五日(火) 昭和二十八年(一九五三年)

斎藤 茂吉(歌人・精神科医)

アララギ派の中心人物の歌人。精神科医として活躍する傍ら、旺盛な創作活動を行い、生涯で全十七冊の歌集を発表した。

二十六日(水) 昭和三十三年(一九五八年)

横山 大観(日本画家)

「朦朧体」と呼ばれる、線描を抑えた独特の没線描法を確立。日本美術院の創設にも参加した、日本画壇の巨匠。

二十七日(木) 昭和十一年(一九三六年)

イワン・パブロフ(生理学者)

犬を使った実験で「条件反射」を発見。行動主義心理学の古典的条件づけに大きな影響を与えた。

二十八日(金) 友引 昭和十年(一九三五年)

坪内 逍遙(小説家・評論家)

文芸評論『小説神髓』を発表し、勧善懲悪が基本だった当時の日本に西洋の近代小説観を広め、近代文学の誕生に大きく寄与した。

ヘルプマークを着けている人を見たらどうすれば：「包帯をぐるぐる巻いている人」と

赤地にハートと十字を白で抜いたピクトグラム。

見た目からわかりにくい障害や難病、妊娠初期の人たちが、電車やバスの席を譲ってもらったといった気配りを受けられる。そんな助け合いの社会をめざして、「ヘルプマーク」は誕生した。2012年に東京都で考案され、全国に広がり、自治体の窓口などで対象者に無料で配られている。



マークの認知率は、2022年の内閣府の調査によると全国平均で52.3%。若者は4人に3人が知っている。しかし、70歳以上の高齢者は3割にとどまる。地域差もあり、発祥の地である東京では8割を超すが、地方の小都市や町村では4割程度とまだまだだ。2024年4月に発足した超党派の「ヘルプマーク普及・促進議員連盟」事務局長の宮口治子さんは、出演番組でそう語っている。重度の広汎性発達障害を抱える息子との経験から、2014年にヘルプマークの存在を知ったという。

問題やトラブルも起きている。マークを着けた人が優先席を譲ってもらえない。マークの悪用やファッション感覚の利用。フリマサイトで有料転売されたことも話題になった。当初の目標にはまだ

達していない。

日本は「助け合わない国」だった

海外で日本人は「シャイだ」とよくいわれる。遠慮しがちで引つ込み思案とみられている。世界各国の市民のふるまいを比べた英国の非営利組織の調査がある。「過去1カ月に、助けを必要としている見知らぬ人を助けたか」とたずねた「World Giving Index」(2024年)だ。日本は「助けた割合」が24%で、142か国のうち下から2番目だった。残念なことに、「助け合わない国」とみられている。



2025年1月4日
J-CAST ニュース

相続問題を防ぐ 遺言能力・意思能力®

メディアカルリサーチ株式会社(東京都)が提供する遺言能力・意思能力®鑑定サービスは、有数の権威ある専門医の協力のもと、遺言作成を行う方の判断能力を医学的見地から評価鑑定し、その鑑定結果を医学鑑定書という客観的資料として提供する国内初のサービスです。2014年にサービス提供を開始し、これまで生前・没後あわせて300件以上の鑑定実績を持ち特許を取得いたしました。(特許番号/第7554439号)

この度、従来から提供している意思能力®鑑定のサービスの行程を全てオンライン化しました。依頼時の相談情報の登録、診療記録及び介護記録等においてもアップロードするだけです。こ

の発明は、特許するものと確定いただき、9月11日、特許原簿に登録されました。本特許により、依頼から鑑定結果の提供までに要していた期間とコスト削減が可能となりました。また遠隔地のユーザーであってもよりよい意思能力鑑定が受けられます。遺言状を作成した対象者に関して、十分な意思能力(思考能力又は判断能力等)を有していたか否かを鑑定するサービスです。今後、遺言能力・意思能力®鑑定サービスは、本機能の拡充に加え、AIを用いた情報分析など、さらなる進化をしていきます。



2024年10月21日
PR TIMES
(メディアカルリサーチ株式会社)

ほつりおタイム

お葬儀面白エピソード

⑦ 祖父のお葬式の規模が大きかった。途中からシンバル、ミニ鐘、手持ちミニ木魚を手にしたお坊さんが6人追加で登場したのだ。さらにリズムに合わせ「ちーん！ ちーん！ シャーン！ ちーん！ ちーん！ シャーン！」と演奏会が始まった。面白いと言うよりも驚きが勝った。葬式終了後、祖母から聞いたのだが、規模が大きくなると和尚さんを何人か呼び、大がかりな大演奏会で弔ってくれるらしい。祖父の戒名も立派だったから、祖父ってやつばすごい人だったんだなあと考えた。





娯楽 & 装花 ニュースあれこれ…



実在の僧侶の写真を使ったカードゲーム『ぼうずめくり』

実在の僧侶の写真を用いたカードゲーム『ぼうずめくり』がXで話題に。実際に遊んだ投稿主と、制作者に斬新なカードゲームの誕生秘話を取材しました。

「本日の地獄難易度神経衰弱枠『ぼうずめくり』と、テーブルに並べたカードで遊ぶ写真を投稿したのは、漫画家・脚本家の磨伸映一郎 (@eittiro) さん。カードの表面には剃髪し、法衣を着た男性。全員が実在する僧侶で、作った人も僧侶という裏話に、「大晦日に家族総出でやりたいやーっ!」「俺の知ってる坊主めくりと違う」「絶対見分けつかんわ」「蟬丸しかない…だ…(違)」名前も顔立ちもひとりひとり全然違うのに、誰一人として頭に入ってこねえ…」と反響が続々『ぼうずめくり』は、承諾を得た実在する僧侶35名分の写真を2枚ずつ使用した70枚のカードゲームです。

カルタや百人一首のように読札・取札があり、読札を裏向きに重ねて山札とし、取札を表に向けて場に広げ、山札から引いた1枚と同じ僧侶の札を場から探す『ぼうずめくり』の他、『ぼうずあわせ』『それはこのぼうずですか?』の3種の楽しみ方を提案しています。



2024年12月26日
まいどなニュース

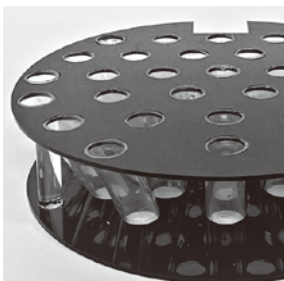
初心者でも短時間で制作可能、葬儀社向け装花プレート

株式会社日比谷花壇

(東京都)は、全国の葬儀社向けに、誰が制作しても同じ大きさ・形・品質の菊の供花を実現する装花プレート「だれでも供花」(特許出願済)を、販売開始。この商品によって、技術者不足や過重労働の解消と生産性の向上が期待でき、誰が制作しても「同じ大きさ」「同じ形」「同じ品質」の菊の供花が完成するため、クオリティの平準化が見込めます。二層構造のアクリル製プレートで構成される供花専用のプレートです。プレートには花の茎を通す穴が32個開いており、上下のプレートの穴がそれぞれチューブで繋がった構造となっています。プレートは一般的

な供花やスタンド花で使用するされる花桶3号サイズに収まるよう、直径19cm、高さ4.5cmに設計しています。

制作者は、この「だれでも供花」を花桶に取り付け、挿入口の穴ごとに指定された長さの生花を挿していくだけで、未経験者でも美しい菊の供花を短時間で制作できます。保水は、花桶にセットしたプレートの下まで水を入れることで対応しており、フラワーアレンジで一般的に使用される給水性スポンジが不要となるため、仕入れコストの削減と環境配慮の両立が期待できます。



2024年12月12日
PR TIMES (株式会社日比谷花壇)

新刊! 葬儀関連書籍

新刊の売れ筋ランキングから
葬儀関連書籍2冊をご紹介します。



「これから死に方」

著者/樗島次郎
出版社/平凡社

現代社会の急激な変化とともに、多様化する死のあり方。過度の延命措置はしないほしい、墓や葬式は必要ない、散骨してほしい、火葬以外の方法で葬ってほしい…など、死に方、死後の送られ方を選ぶ自由を求める声が広がっている。だがその自由は、「自己決定」の名のもとで無制限に認められるものだろうか。生命倫理の専門家が問う死をめぐる自由の範囲と制約の条件。



「悲しまないで、そして生きて」

著者/鈴木秀子
出版社/グッドブックス

亡くなったあの人は、どこにいて、何を思い、何を語るのか。遺された人を救った「9つの実話」。生と死を見つめ続けるカソリック(聖心会)シスターのもとに寄せられた、9つの不思議な体験実話。病で逝った幼な子が母を励ます言葉、自殺を思いとどまらせた今は亡き医師、雪原で道に迷う孫を救う亡き祖母など、涙なくしては読めない感動の物語。

今日は 何の日？

2月(如月・February)

1日(1953年)

日本初のテレビ
本放送開始

NHK東京テレビ開局祝賀式のあと舞台中継などを放送。日本初のテレビ本放送となる。

2日(1976年)

『徹子の部屋』
の放送開始

黒柳徹子が司会を務めるトーク番組。40年を超える長寿番組。初回のゲストは森繁久彌。

3日(1958年)

若乃花が
横綱に昇進

若乃花幹士(第65代横綱・貴乃花の叔父)が第45代横綱に昇進。栃錦と共に栃若時代を築く

4日(2004年)

「Facebook」が
開設される。

アメリカでサービスを開始。日本語版は2008年に公開。2012年9月にはユーザー数が10億人を超えた。

5日(1920年)

私立大学が認可

「大学令」が施行され、慶應義塾大学と早稲田大学が初の私立大学として許可される。

6日(2011年)

大相撲
八百長問題

日本相撲協会は2011年春場所の中止を決定。本場所中止は65年ぶりで、不祥事を理由とした中止は初。

7日(1998年)

長野オリンピック
開催

20世紀最後の冬季オリンピック。冬季オリンピックとしては、最も南に位置する都市で開催された。

8日(1887年)

郵便マークが
決定される

通信省のマークが「丁」に決定。6日後、カタカナの「テ」を图案化した「ㇿ」に変更される。

9日(1948年)

初の国産ボー
ルペンが発売

「セーラー万年筆」が業界のトップを切ってボールペンを発売。ブームの導火線となる。

10日(1988年)

『ドラゴンクエストⅢ
そして伝説へ…』発売

ファミリーコンピュータ用のゲームソフト。量販店の前に数kmの行列ができるなどの社会現象を巻き起こした。

11日(1889年)

「大日本帝国憲法」
が公布

これを祝い考え出されたのが「万歳」の発声で、この日初めて「万歳三唱」が行われる。

12日(1968年)

世界初の
レトルトカレー発売

レトルトカレーの「ボンカレー」が大塚食品から発売。初めは阪神地区で限定販売であった。翌年5月から全国で販売。

13日(1875年)

「平民苗字必称
義務令」布告

すべての国民が姓を名乗ることを義務づけられる。

14日(1946年)

世界初の
コンピュータ公開

世界初のデジタル電子計算機(コンピュータ)がアメリカのペンシルバニア大学で公開される。

15日(2005年)

「YouTube」が
スタート

アメリカのカリフォルニア州で設立されたサービス。初めて動画が投稿されたのは同年4月23日である。

16日(1883年)

日本初の
天気図を作成

東京気象台が、ドイツ人気象学者の指導の下、7色刷りの日本初の天気図を作成する。

17日(1925年)

ツタンカーメン王
の墓が発見される

エジプトで発見。純金製の棺桶など3000点以上の品々が埋葬されており、「世紀の発見」と言われた。

18日(1950年)

第1回
雪まつり開会

「さっぽろ雪まつり」の第1回大会が開会。6つの石像を札幌市の中学・高校の生徒が制作。

19日(1907年)

日本初の自動車
運転規則制定

警視庁が日本初の自動車運転規則「自動車取締規則」を制定。スピード制限等が定められる。

20日(1997年)

大阪ドームが
完成

大阪市西区にある多目的のドーム球場兼複合レジャー施設。2006年から呼称が京セラドーム大阪になった。

21日(1872年)

「東京日日新聞」
が創刊

「毎日新聞」の前身。現存する日刊紙では最も古い歴史を誇る。世界初の新聞戸別配達を実施した。

22日(1989年)

「吉野ヶ里遺跡」が
確認される

佐賀県教育委員会の発掘調査で、吉野ヶ里に弥生時代の大集落が存在していた事が確認。

23日(1977年)

「きく2号」が
打ち上げ

宇宙開発事業団が種子島宇宙センターから打ち上げた技術試験衛星。日本初の静止衛星。

24日(1958年)

『月光仮面』の
放送開始

子供たちに圧倒的な支持を受けた正義の味方。平均視聴率は40%、最高で67.8%の記録を残す。

25日(1978年)

『未知との遭遇』が
日本で公開

『未知との遭遇』が公開され、SF映画ブームの火付け役に。同年に『スターウォーズ』も公開されている。

26日(1914年)

パナマ運河開通

太平洋と大西洋を連絡する運河。当初はフランス人技師が工事を進めていたが失脚。アメリカが引き継ぎ完成させた。

27日(2005年)

八甲田トンネル
が貫通

東北新幹線の十和田駅から新青森駅間にある新幹線専用かつ世界最長の陸上トンネルで、全長26kmを超える。

28日(1964年)

『オバケのQ太郎』
連載開始

週刊少年サンデーで『オバケのQ太郎』の連載が始まる。その後アニメ化され、ブームとなる。

